



“Life-time Opportunity”

1. 出発まで

私は元々ディズニーよりジブリ派だったので(笑)、ディズニーについての事前知識があまりありませんでした。ですから、出来るだけ、プログラムについてのWebサイトなどを読んで知識とイメージを膨らませたり、プログラムに関するYouTube動画や、今まで見た事の無かったディズニー映画を出来るだけ多く見て予習をしていました。また、東京ディズニーランドについての本なども読んでいました。

2. 現地にて

このプログラムの大きな要素は「ディズニーワールドで働く」ことですよね。私は5ヶ月間、かの有名な！シンデレラ城の元、Attraction/ QS F&B キャストメンバーとして、マジックキングダムで働いていました。やはりアメリカ、新人だろうがノンネイティブだろうが関係ありません。研修初日からスパルタで鍛えられます。しかしその分、英語をツールとして海外で仕事をする事、臨機応変・柔軟に動く事、「コミュニケーションをとる」とはどういう事かなど、後々に役立つスキルや経験を学び得る事が出来ました。



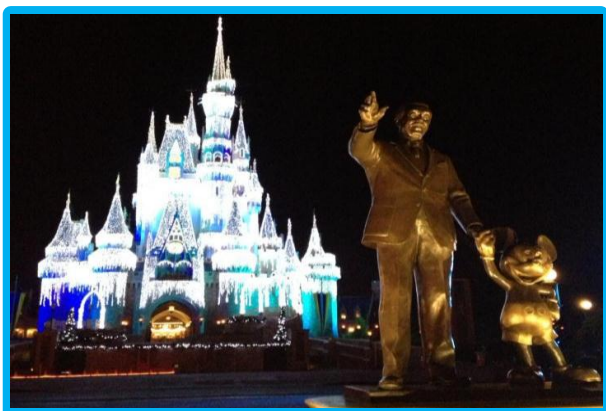
また、みなさんの期待のひとつは「外国人とのルームシェア」ですよ。このプログラムの学生は本当に様々な国から参加しています。世界中のいろんな人に会い、話し、接する事は人生に刺激と感動と変化をもたらしてくれます。海外という不便な場所で親元を離れて自立し、生活をする事で、今まで見えてこなかった新たな発見があるかもしれません。ただ何事に対しても一番重要なのは「自分から行動すること」です。実際に、待ちの姿勢でいたプログラム前期とそれに気づき改善した後半では、成長率が大きく変わりました。

3. 振り返って

私はこの5ヶ月間で、「苦しい・辛い・大変」と思った事は実は1日もありませんでした。ちょっと嘘っぽいですが、逆に考えれば「そうならないようにした・そう思わないようにした」と言えるかもしれません。「せっかくのチャンス、全てをものにしたい！」と思えば、できます。できました。本当に毎日が楽しく充実し、輝いていて、まさしく夢の国・魔法の国での生活でした。このプログラムは私の人生を大きく変えてくれました。本当に参加できて良かったと、全てに感謝のみです。

4. これから

帰国後就活を始め、第一志望の企業から内定を頂く事ができました。しかし、どうしてももう一度、あの場所に戻りたいという強い思いから、現在さらなるインターンシップを目指して活動中です。将来はディズニーで本就職し、更なる成長をし、向こうでのキャリアを積んでいけたらな、と計画しています。



参加を考えている人へ：

迷っているのなら、すぐに参加しましょう。今すぐに！！初めての海外で英語力に自信があれば、つけばいい。今までの海外経験に満足できなかった人であれば、なおさらやるべき。海外で働くチャンスがほしいなら、ここにあります。やる気と情熱と行動力さえあれば、必ず成功します。自分に自信と実力がつきます。大変な経験は人を何倍にも成長させてくれます。The Happiest Place on Earthで、the happiest one! になれます。一分一秒も無駄な時間がないほど忙しいけれど、それ以上に楽しい。ウォルトの言葉を信じてください。

“If you can dream it, you can do it.”—Walt Disney

Work! Learn! Enjoy!

1. 出発まで

英語の勉強はもちろんのこと、このプログラムに関する動画を見るなどして出来る限り学ぶよう努めました。決定から出発まで3カ月程ありましたが、ビザの面接や必要書類の準備等であっという間に時間は経ちます。特に書類の準備は期日より早めに済ませることをお勧めします。

2. 現地にて

インターンシップ
前半はAll Star ResortでのMerchandise、後半はEPCOT内でQuick Serviceの仕事を経験しました。アラクシオンとは異なりDisneyでなくても出来そうな仕事ですが、どのポジションよりもゲストに近くお話しも共有できる接客の仕事は本当に楽しいものでした。

授業
前半のDisneyの授業ではアメリカ式のプレゼンテーションをしたり名刺や履歴書を作成しました。後半はバレンシア大学の授業を受けましたも。どの授業も新鮮で実際にインターン中にも活用できるとてもためになるものでした。



日常生活
出来る限りのことは挑戦しようと思ひ何事も積極的に取り組みました。ルームメイトとお寿司を作ったり、スペイン語を教えてもらったりしました。バケーションでカリフォルニアやプエルトリコにも遊びに行きました。プログラム終了時にはカレッジプログラム生だけでなく世界中に多くの友達を作ることが出来ました。

3. 振り返って

このプログラムに参加できて本当に良かったと思います。迷っていることには、前向きに何でも挑戦しようと思えるようになりました。日本とは異なるアメリカ式の授業やプレゼンテーションの方法は日本でも十分に活かせるものでした。プログラム中に仲良くなった友だちとは今でも頻繁に連絡を取り合い、まるで家族のような存在です。海外でホスピタリティーを学びたいと思っていた私にとって、期待以上の素晴らしい経験となりました。

4. これから

言語や文化が異なろうと「笑顔」と「相手を知りたいと思う気持ち」は何よりも大切であると学びました。どのような仕事に就こうとこの二つを忘れずに働きたいと思ひます。Disneyで学んだホスピタリティーと日本人としてのおもてなしの精神を持って世界で活躍することが私のこれからの目標です。



参加を考えている人へ
迷っているのならばぜひ、参加することをお勧めします。
後悔はさせません！

Let the magic begin !!

1. 出発まで

気持ちの面では、出発日が近づくにつれ期待よりも不安が強くなっていったのを覚えています。自分の英語力で通用するかな？生活に適應できるかな？ということばかり考えていました。

準備の面では、薬類は日本から多めに持って行くようにしました。洗濯ネットは持って行くだけでも便利だと思えます。そしてなにより日本食はかかせません！

2. 現地にて

①授業

ヴァレンシア大学の授業2つの他に、ディズニーのOrganizational Leadershipというコースを選択していました。このコースは良きリーダーとはどのような姿か、どのようなリーダーシップのとり方があるのかということ学びました。グループワークがメインで、レポートを書いたりプレゼンをしたりと楽しい授業でした。

②仕事

Hollywood Studiosで働いていました。前半はfoodの仕事で、キッチンもレジも清掃もすべて業務のうちに入っていました。週4日朝から晩まで働いて、週3日休みという

3. 振り返って

あっという間の5か月間でした。当初の不安はどこへやら、ホームシックもなく本当に帰国したくないと思えるほど友達やディズニーで働くことが大好きになっていました。このプログラムに参加した人が声をそろえて言うことだと思いますが、私も人生が大きく変わりました。英語の上達もそうですが、働くことを通して相手の気持ちを汲み取り、どう行動すればよいのかということも分かるようになったと思います。色々な国籍の人と働き、生活するうえで協調性も身に付きました。



スケジュールだったので自由な時間が多く課題も取り組みやすかったです。

後半はmerchandiseでした。主にレジで、たまに商品補充の仕事がありました。フードに比べて接客がほとんどなので、ゲストといういろいろなお話ができてとても楽しかったです。Tower of Terror, Rock 'n' Roller Coaster, Fantasmic!の3か所で働いていて、それぞれコスチュームも雰囲気も違うので、毎回新鮮な気持ちで仕事ができました。こちらは、週5仕事・週2のオフに授業だったので丸一日休める日がありませんでした。

4. これから

ディズニーは世界一のカスタマーサービスを提供していると私は思っています。その接客法、ビジネス法をキャストの一人として学べたことを誇りに、また武器に、夢に向かって頑張っているところです。

帰国後は英語に触れることも少ないので、力が衰えないように英語の勉強を継続しています。

また、このプログラムに参加したことで今まで興味のなかった分野にも興味がわいてきたので、これからも勉強していきたいです。



Here is Arisa Karino pin trade with some Guest at Rockin' Roller Coaster



参加を考えている人へ：

ディズニーが好き！英語を上達させたい！就活に生かしたい！どんな理由でもいいと思います。参加することで自信が付き、可能性が広がると思います。誰もができるわけではないこのプログラムは、絶対に人生の糧になります！ぜひ参加されたいです！

最高の経験、最高の仲間と

1. 出発まで

第一期生としてほとんど情報が無い状態でプログラムに参加したので、出発直前は不安だらけでした。以前タコマ留学の経験はあったのですが今回はインターンシップで、しかもディズニーという世界的大企業で働くというので語学力の面、また現地のキャストやゲストとのコミュニケーションの面での不安も多々ありました。特別英語学習といったものはせず、映画やドラマをみたりする程度でした。



2. 現地にて

私の最初のロールはアトラクションだったのですが、職場にはネイティブスピーカーがほとんどでコミュニケーションの取り方やヒアリングには大変苦労しました。仕事自体も安全を常に第一に考えながら同時に効率性やゲストを楽しませることを考えなければいけないので本当にタフな仕事でした。次のロールはマーチャンダイズで、マジックキングダムメインストリートにあるWDWで一番忙しいであろうストアで働きました。マーチャンダイズではアトラクションよりもゲスト一人ひとりと話ができとてもやりがいのあるものでし

3. 振り返って

私のプログラムを振り返って正直に思うのは、本当に大変だった！ということです。やはり言語というものがこんなにもネックになるのかと何度も痛感させられました。でも同時に今はあの頃に戻りたいという気持ちでいっぱいです。ディズニーという誰もが憧れる場所で働けたというのは自信にもつながったし何にも代えがたい経験だったと思います。そしてエンターテイメントの中心地で友人たちと過ごした日々は今振り返っても夢だったんじゃないかと思うくらい最高で一生の宝物です。



参加者体験記



た。また英語の話せない日本人ゲストをサポートしたりとても意義のある仕事でした。そしてこのプログラムを通して一番良かったと思うのが、ルームシェアです。初めは生活リズムの違うルームメイトに気を遣いすぎてストレスを感じたりしていたのですが、一緒に出掛けたり大事な祝日と一緒に祝ったりするうちに家族のような存在になって今でも頻繁に連絡を取り合っています。

4. これから

ディズニーで働くうちにもともと興味があったホスピタリティという分野により関心を持つようになりました。日本国内外問わず、短期インターンシップなど機会があれば挑戦していきたいと思っています。英語や英語圏の文化が好きなのは相変わらずですが、最近日本の良さも再発見できたので日本文化を学んだり日本人にしかできないホスピタリティを習得していきたいと思っています。

参加を考えている人へ：

参加して後悔は絶対にありません。プログラムを終えるころには自分自身が成長したのを感じるだろうフロリダを去るのが惜しくなると思います。迷っているのならとりあえず参加してみましょう！これからの人生を大きく変える人に出会えたり、経験ができると思います。

Let the memories begin!

1. 出発まで

出発前まではアメリカでの生活への期待と、ひたすら準備に追われ、不安などは一切ありませんでした。ただネイティブが話すスピードにできるだけ慣れておこうととにかくリスニング教材をきいていました。プログラムが開始するとすぐに授業、仕事が始まるので、「英語を聞けない、話せない」となるのかな〜り苦労します。また、興味をもってきている相手へのマナーとして、日本の文化や政治について知っておくのは大事ななあ、と痛感しました。



2. 現地にて

「働く、暮らす、学ぶ」をすべて英語環境で他の文化の人たちと共にするのは、とにかく刺激的で、最初は環境に慣れること、仕事を覚えることで精一杯でした。またWDW内ではキャストもゲストも色々な国籍、年齢の人がいて、どのキャストもCreate Happinessのため言葉も仕事内容も同じレベルを求められます。私はマジックキングダムでOperationとF&B roleをしていました。特にゲストと密にコミュニケーションが必要となるOperation roleでは「留学生だから…」なんて言い訳は全く通用しない世界でした。大変だと思ふことは何度もありましたが、日本語がはなせるからこそ役にたてることもあるし、なにより「ここに来て本当に良かった」と思う瞬間はその倍以上にあります！

3. 振り返って

本当に毎日が濃くてあっという間の5ヶ月でした。そして大変なこと、楽しかったこと、すべてひっくりめ一生忘れられない思い出が詰まった5ヶ月間でした。日本の良さも沢山実感しました。いまだに沢山の思いがあり一言では表せられませんが、とにかく在学中にこの素晴らしい機会に出会えたこと、チャンスをいただけたことが本当に幸せです！！



プログラム中には勉強や働くばかりでなく、パーティーやイベントもかなり沢山あります。友達もかなり増えますし、ぜひ足を運んでほしいです♪イベント時期のパーク内は最高潮の盛り上がりで、パークの入り口から奥まで「人・人・人！！」で溢れています。特にニューイヤーのカウントダウンは涙が出るくらい、みんな思わず知らない隣同士のゲストとハグし合うくらい感動しました！一生忘れられない思い出になったので、もしfallのDCPIに参加される方で、チャンスと人ごみに飛び込む勇氣（笑）がある方は、是非マジックキングダムのカウントダウンに行ってみてください★

4. これから

まずは就活をし、将来自分のベストだと思える進路を見つけます。Disneyの経験でホスピタリティー分野への関心がより深まったので、プラスに生かしていけたらと思います。それからもう一度海外で経験を積みたいという野望）、向こうで出会った親友に会うためにバイトや英語や韓国語、スペイン語学学習に励みます！

参加を考えている人へ：

迷ってる方、とにかく挑戦してみてください！「英語を学ぶのではなく、英語で学ぶ」。語学はもちろんですが、日本、他の留学では学べないこと、経験できないことがたくさんあると思います！

参加される方、きっと向こうでの生活はホームシックにかかる暇すら惜しいくらい、あっという間でず〜り沢山素敵な経験を積んで、沢山楽しんでください♪

世界一の職場と学習

1. 出発まで

職場になる、Disneyをまずは知るべきだと、改めて子供のころに観ていたDisney映画を観たりしました。Walt Disneyがどんな気持ちで、またどういった過程で、今世界一のエンターテインメント会社を作ったのか、こういったことを事前にきちんと知ることで、働く前に気持ちの準備ができました。

2. 現地にて

週1のDisneyの授業に加え、Valencia Collegeからのオンラインでの宿題提出、そして週4~5のDisneyでの勤務は、想像以上に大変でした。私の仕事は、Costuming。その中でも、昼にMagic Kingdomで行われる二つのパレードを、裏で一日中サポートするというお仕事でした。重労働で俊敏さと正確性を求められる大変なポジションではありましたが、同時にキャラクター達や、ダンサー達が音楽とともに乗り物に

乗って動き出す瞬間を毎日のように見ることができ、夢のようなお仕事だったと改めて思います。私はゲストと触れあうことのできる仕事ではありませんでしたが、みんなで力を合わせてパレードを無事成功させる！という裏方ならではの仕事で学ぶことはたくさんありました。また、ルームメイトや同僚とも、とてもいい友好関係を築け、日本に変える頃には世界中に友達を作ることができました。

3. 振り返って

決して楽な半年ではなく、立ち止まったり、挫折したりすることもありましたが、私はこのプログラムに参加できて本当に良かったと思います。日本では決して得られることのない、沢山の友達と、仲間と、経験と、知識と、時間が得られたと感じています。

4. これから

現地で得た、コミュニケーション力、協調性、主体性を発揮できる会社で働けるよう、就職活動に励んでいきたいと同時に、現地で出会えたルームメイトや友達、同僚にいつか自ラ会いに行けることができたらいいなと思います。

参加を考えている人へ：

少しでも興味がある人、今、何をしたいかわからず進むべき道が見つからない人。一歩踏み出してこのプログラムに参加すれば、思った以上の経験と仲間が得られるかもしれません^^



北九州市立大学 外国語学部：山本晴香

世界中にできた友達が1番の財産です！

1. 出発まで

初めてこのインターン話を聞いたときのあの胸の高鳴りは今でも忘れられません。授業中にも関わらず、笑みがこぼれて仕方ありませんでした。もともと留学を考えていたのですが、それだけではなんだか物足りなくて、他に何かないかと探していた矢先の話でした。アメリカの大学で勉強しながら、色々な国籍の人と働くことができ、また世界No.1のホスピタリティーを学ぶことのできるこのインターンシップは、まさに私が探していたものそのものでした。チャンスの女神には前髪しかないという言葉信じて、その後すぐに応募したのがまるで昨日のことのようです。



3. 振り返って

このインターンシップに参加して1番よかったことは、多くの出会いによって、視野が広がったことです。年齢や性別、国境を越えて様々な人とコミュニケーションをとる中で、今まで自分が知らなかった世界をたくさん知ることができました。特に私の中で大きかったのは、アジアやアフリカ、ラテンやヨーロッパ出身の人と友達になれたことです。恥ずかしながら、それまでいかにアメリカ以外の国や地域について何も知らなかったことを実感させられました。今回のインターンシップを通して、彼らの文化や習慣に初めて触れる貴重な機会を頂けて本当に良かったです。ディズニーワールドでは文字通り世界中から学生が集まって一緒に働くので、世界を知るひとつのきっかけになりました。また、彼らの志の高さにもすごく刺激を受け、彼らと出会ったことこそがこのインターンシップの宝物だと私は思っています。

4. これから

私の将来の夢はキャビンアテンダントになることです。今回のインターンシップで学んだディズニーの「make magical moment」の精神をもって、また世界中にいる友達に負けずに、これからも色々なことに挑戦して絶対に夢を実現させます！

Because dreams comes true!



2. 現地にて

フロリダでの生活は私にとって初めて、実家を離れての一人暮らしでした。最初はホームシックになったりつらいこともあったけど、ルームメイトや同僚のおかげで、最後はフロリダを離れるのが寂しくてたまらなくなるほど、気が付けば毎日すごく楽しいものになっていました。出会う人はみなフレンドリーで、すぐに友達になれました。様々な国籍の人がいるので、お互い自国の食べ物を持ちよったり、民族衣装に身を包んで踊りを紹介したり、文化をシェアしたり、パーティーを開いたり、すごく楽しかったです。また、ディズニーが力を入れているボランティア活動にも参加したり、授業や働く時間はもちろん、それ以外の時間もすごく充実した日々を送ることができました。



参加を考えている人へ：

このプログラムを聞いてときどきするあなた、どうかそのときどきを大切にしてください。百聞は一見にしかず。やらずに後悔よりもやって後悔。今、この時だからこそできることがここにあります。Once in a life experience があなたを待っています(*^^*)胸のときめきはそのままに、どうぞディズニーの魔法にかかってきてみてはいかがですか♪

夢の世界から学ぶこと

1. 出発まで

合格して、出発までは不安でいっぱいでした。とりあえず、英語の勉強。でも、ちゃんと勉強できているのかどうかいまいちわからない……。という微妙な感じでしたね。それでも大好きなDisneyに行けると毎日わくわくときどきしながら出発の時を待っていました。あと、尊敬する先輩に会えるだけ会って、たくさんアドバイスをいただきました。



2. 現地にて

最初の一か月は苦労しっぱなしでした。予想はしていたのですが、予想以上に苦しかったです。まず、当たり前ですけど英語！通じない。まったくもって通じない。聞いて理解するのに全集中力を使うので終始黙りっぱなし。自分の意見は言えない、もちろん雑談もできない。しかも周りの子たちはスペイン語ばかりしゃべる。それでも、やっぱり慣れると全然平気になりました。友達ができると自然に

おしゃべりできるようになったし、仕事のミスも減りました。最後には私が新しい子に仕事を教えてました。なによりたまにあるゲストとのたわいもない会話が楽しくって、そんな会話が自分でもできるようになったんだなとしみじみ自分の成長を感じたのが最後の1か月でしたね。

3. 振り返って

初めての留学、初めて英語を使っただけの仕事。なにもかもが初めてだらけわからないことだらけで、くじけそうでした。でも、周りの友達が話を聞いてくれて、励ましてくれて、職場でも助けてくれる同僚ができて。私、周りの人に本当に恵まれているんです。あと、とにかく「ポジティブになる」こと。くじけそうでも意地でもポジティブに考えられるようになりました。そして「努力」。仕事ってホントに慣れなんですね。慣れるまで頑張れる努力。それこそが大切です。それは海外だからってかわりません。努力は場所を選びませんから。

4. これから

今後はDisneyで学んだホスピタリティを日常生活で自然に使えるようになるのが一つの目標になりました。いつでも明るく、人に夢を与えられるようなそんな人間になりたいです。あと、今を一生懸命頑張るっていう精神ですね。何をどう考えたって今を頑張ることこそ今後に繋がっていくのだと思うようになりました。人と人とのつながりを大切に、スーパー前向き人間になったつもりで現在は頑張っています。

参加を考えている人へ：

みなさん知っていますか？毎年ディズニーリゾートでバイトをしたくって応募する人が大勢います。このプログラムはそのあこがれの夢の世界でインターンシップという形で働き学ぶことができる貴重なチャンスです。しかも、海外です。海外で仕事ができる機会なんてまずありません。ぜひ挑戦してみてください。応援しています！

ちなみにProgram内のイベント"Night of Stars"というタレントショーでBest Dancerに選んでいただきました。ダンサーが夢の私にとって最高の思い出です。